

【庁議結果_HP】

区 分	内 容
会 議 名	令和3年度 第14回庁議
日 時	令和3年10月12日（火） 午前9時00分から午前10時30分まで
場 所	庁議室
件 名	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 前橋市国土強靱化地域計画 令和2年度進捗評価結果等について（総務部）</p> <p>(2) 夜間急病診療所（仮称）及び福祉作業所（仮称）新築移転に伴う実施設計の完了について（福祉部・健康部）</p> <p>(3) 群馬県版ワクチンパスの運用開始及び本市の接種済証再交付について（健康部）</p> <p>(4) 水道料金改定に係る今後の周知について（水道局）</p> <p>【その他】</p> <p>(1) 収納事故防止の徹底について（会計室）</p> <p>(2) 馬場川通りの社会実験について（都市計画部）</p> <p>(3) 保健予防課感染症対策係の事務室の移動について（健康部）</p> <p>(4) スーパーシティの再提案について（未来創造部）</p> <p>(5) 選挙従事に係る全庁的な配慮について（選挙管理委員会）</p>
	<p>【報告事項】</p> <p>(1) 前橋市国土強靱化地域計画 令和2年度進捗評価結果等について（総務部） 総務部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(2) 夜間急病診療所（仮称）及び福祉作業所（仮称）新築移転に伴う実施設計の完了について（福祉部・健康部） 福祉部・健康部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(3) 群馬県版ワクチンパスの運用開始及び本市の接種済証再交付について（健康部） 健康部から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>(4) 水道料金改定に係る今後の周知について（水道局） 水道局から資料に基づき説明 ※詳細については、添付ファイルを参照のこと。</p> <p>【質疑等】</p> <p>(1) 前橋市国土強靱化地域計画 令和2年度進捗評価結果等について（総務部） 《市長》 災害対策について、コロナ禍で実施が困難なものがあったようだが、それ以外は概ね順調に進んでいると思う。その中で、まちの安全ひろメールについて今後の形態を伺いたい。教育委員会が行っている学校の登下校に関する注意喚起や消防局で独自に行って</p>

いる注意喚起があれば統合していくつもりか。また、本市では LINE の活用も行っているため、それらを含めた総合的な統合戦略を考えるべきだと思うがいかがか。

《防災危機管理課長》

まちの安全ひろメールは、当面このまま続けていきたいと考えている。LINE については、普及状況をみながら活用を考えていきたい。情報が拡散しすぎて肝心なところで情報が届かないということがないようにしていかなければならないため、現状を考慮しながら、今後も検討していきたい。

《市長》

承知した。ぜひ総合的に考えていただきたい。

《未来創造部長》

前橋市国土強靱化地域計画については、第七次総合計画や今後予定されているスーパーシティ計画の並列補完的な位置づけとなっている。44の重要項目中の9項目が、総合計画と同じであるため、統一的にできないかということも検討してわかりやすい評価を目指していきたいと思う。

《市長》

承知した。

(2) 夜間急病診療所（仮称）及び福祉作業所（仮称）新築移転に伴う実施設計の完了について（福祉部・健康部）

《教育長》

資料の中に南西から見る外観図があるが、この見えている玄関は歯科医師会の玄関になると解釈した。休日・夜間診療所は東側にあるようだが、人々が歯科医師会側の玄関から入ってしまうと医療の方には行くことができないような状況にみえる。歯科医師会の玄関から休日・夜間の診療所に抜ける道のサインや導線などを考えていただきたい。

《市長》

ある程度サインを統一していくことで、わかりやすくなると思う。教育長にご指摘いただいた件についても考えていただきたい。南の公園内にカフェができるが、本市がつくるのか。

《都市計画部長》

本市ではなく、公園内のカフェとトイレはPFI事業者がつくる。

《市長》

本市としては、総合的にエリアマネジメントをしていきたいと思う。事業者には、色合いや街路樹など一定の景観形成への協力をいただきたい。また、駐車場の誘導サイン計画についてなど民間の方々によく話し合った方がよいと思う。壁の色合いや玄関に植える木の種類というのはハード事業ではなく、ソフト事業にあたると思う。隣に大きなス

ーパーもできるということなので、全体のエリアマネジメントはすべきだ。エリア価値の向上は、多くの人にメリットを与えたいと思う。話し合わなければ物事はうまくいかない。議論は我々だけでなく、皆で一緒に考えて色々話し合うべきだと思う。

《市街地整備課長》

現在、ハード整備は、それぞれの施設で個々にやっているが、極力相違がないようにこちらでも確認するようにしている。ソフト事業に加え、ハード事業にもなるべく関与していきたい。

(3) 群馬県版ワクチンパスの運用開始及び本市の接種済証再交付について（健康部）

《大野副市長》

ワクチンパスと身分証明書との併用になるか。

《新型コロナワクチン接種推進室長》

そのとおり。

《市長》

マイナンバーカードを活用した仕組みを検討するべきだ。マイナンバーカードを持つきっかけに繋がると思う。

《産業経済部長》

周知のお願いとなるが、ぐんま GoToEat ワクチンプレミアムとマエテクをタイアップし、15日から周知チラシを作成し情報発信をしていく予定だ。15日からの情報発信は周知チラシの配付が基本だが、定例記者会見も行う予定であるため市長からご周知をお願いしたい。

《市長》

承知した。旅行券を1,000円増しにする話が出ていたと思うが。

《文化スポーツ観光部長》

県の事業である「愛郷ぐんまプロジェクト第3弾」の試行実施開始日10月15日から、本市独自で1,000円増しの旅行券も開始できるように進めている。

《大野副市長》

新型コロナウイルスワクチン接種済証を紛失した方の再発行については、保健所の4階に行けば即日、それ以外は後日郵送するということだが、発行までの期間はどのくらいか。

《健康部長》

4、5日程度で郵送される。

《市長》

マイナンバーの有効活用はできないのか。

《大野副市長》

国が、ワクチンパスとマイナンバーカードを組み合わせる予定のようだ。

《市長》

国のワクチンパスは、11月中旬頃か。概要はまだ周知されていないのか。

《健康部長》

まだ詳しい話はきていない。

《市長》

取り急ぎ、接種券の保管については、市民の方に周知していかなければならないと思う。ワクチンの接種状況についての報告はあるか。

《健康部長》

昨日現在の状況は、予約を含め、全世帯の約87%が接種済みの見込みである。年代別では、50代以上は90%である。20代、30代、40代においても約80%の接種見込みである。また、1回目接種済みは84.3%、2回目接種済みは77.7%である。もう少しばらくすると、2回目も80%になる見込みである。

10月9日に約2万回の接種予約枠の開放を行った。11月中に希望者すべての接種を終了したいと考えている。当初は、若者の接種が進まないという問題があったが、15～19歳の接種状況は予約を含め80%を超えている。12～14歳は68.7%であり、かなり接種が進んでいる。

今後は、ワクチン接種を11月に概ね完了、12月からは規模を縮小し、接種態勢を継続していく予定だ。3回目接種については、2回目から約8か月後にすると国が方針を示している。この予定でいくと、今年の12月に3回目接種が始まり、来年2月には約4万人以上が3回目接種を迎える。今後は3回目接種に向け体制の整備をしていく予定だ。

《市長》

3回目は、ファイザー製の方はファイザー製、モデルナ製の方はモデルナ製を接種することになるのか。

《健康部長》

国から、交差接種の話もでてきているが、原則、同じワクチンを接種する方針だ。

(4) 水道料金改定に係る今後の周知について (水道局)

《市長》

リーフレットに減免措置について記載がないが、詳細はまだ決まっていないからか。リーフレットを配布する前には、決まるか。

《水道局長》

減免措置については、具体的にはまだ決まっていないが、すでに令和3年10月の広報で減免措置を検討している旨は記載している。

《公営企業管理者》

令和4年2月の広報と2月～3月に配布するリーフレットには、記載を予定している。

《市長》

承知した。

【その他】

(1) 収納事故防止の徹底について（会計室）

会計室から資料に基づき説明

※収納事故防止の徹底についての詳細は、添付ファイルを参照のこと。

(2) 馬場川通りの社会実験について（都市計画部）

《都市計画部長》

10月12日（火）の上毛新聞の一面に民間資金による馬場川通りの改修事業と自動車を通り止めにする社会実験の記事があったが、市街地整備課が発注した当該委託において、全国初となるまちづくり分野でのソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）の導入が実現した。SIBは、医療・福祉・介護などの分野での活用実績が多く、まちづくり分野では成果指標の設定などが困難であるため導入事例がなかった。本市では、有識者のアドバイスをいただきながら、成果指標や成功報酬を設定し、複数の民間金融機関等へヒアリングを行った結果、今回のSIBの資金提供者の参画を得ることができた。15日（金）の記者会見では、当該業務の受託者である前橋デザインコミッション並びにSIBの資金提供者である第一生命保険及び信託会社のすみれ地域信託が同席し、事業者側から事業スキームや事業内容の説明を行う。なお、全議員、庁議メンバーへの説明資料を含めた周知は、14日（木）にメールで行う予定だ。また、市のホームページについては、記者会見に合わせて15日（金）に掲載する予定だ。

(3) 保健予防課感染症対策係の事務室の移動について（健康部）

《健康部長》

保健予防課の感染症対策係が、兼務等で人数が増えたため、今月23日に以前ワクチン接種推進室があった保健センターの4階に移動することになったことをご承知いただきたい。

(4) スーパーシティの再提案について（未来創造部）

《未来創造部長》

8月6日に国の専門調査会が行われたところ「大胆な規制改革の提案が乏しい」ということで31すべての団体に再提案を求めることとなった。申請の締め切りが今週15日（金）までとなっており、本来であれば申請内容について庁議メンバーに確認いただくところだが、まだ検討中だ。14日（木）の第1回スーパーシティ・スマートシティ推

進委員会で確定するスケジュールであり、庁議メンバーには15日（金）の提出後に確定版を共有させていただく。

(5) 選挙従事の全庁的な配慮について（選挙管理委員会）

《大野副市長》

第49回衆議院議員選挙及び第25回最高裁判所裁判官国民審査が行われるため、選挙管理委員会事務局では、準備を進めているところだが、期日前投票、不在者投票、当日の投票、開票の事務を円滑に進めるためには、選挙事務に従事する職員の協力が必要不可欠になる。各所属については、積極的に選挙事務に従事できるよう特別なご指導・ご協力をお願いしたい。また、全庁掲示板にも選挙管理委員会事務局から掲載しているが、緊急時の代替職員についても同様の配慮をいただきたい。

【質疑等】

(1) 収納事故防止の徹底について（会計室）

《市長》

会計室以外でお金のやり取りがあるのか。

《会計室》

各窓口で証明書の交付などの手数料がかかっている。

《大野副市長》

市民部で証明交付については、キャッシュレスやレジスターの導入を検討していただいているところだ。そうすれば、クレジットカードや電子マネーなどが使用でき、現金の取扱事務も機械的に行えるようになり、収納事故の防止に繋がると思う。

《市長》

住民票以外に支払いを求めているものは。

《会計室管理者》

税証明や、施設の使用料等だ。

《市長》

手間と対応のバランスを考えてほしい。大野副市長が言っていたシステムでどうにかなるのであれば、推奨していきたいと思う。そこで、職員のストレスを軽減するためにもDXが重要だ。是非DXの取組は、検討し続けてほしい。学校では、お金の取扱いはあるか。

《指導担当次長》

教材費の取扱いがある。教師が、手集金で行っている。

《大野副市長》

やり方としては、口座振替などが考えられると思う。

《市長》

学校の口座はあるか。

《指導担当次長》

給食費は、公会計であるため口座はある。

《大野副市長》

本市は、教材費を公会計から切り離している現状だ。ただ、他自治体では教材費も公会計にしているところもあるようなので、検討の余地はあると思う。

《市長》

今回の件を受けて、お金の取扱についていいアイデアがあれば DX 関係の議論で検討していきたい。

(2) 馬場川通りの社会実験について（都市計画部）

《市長》

行動観察をするようなので、皆さんも子どもやペットを連れて馬場川通りに遊びにいらしてほしい。

《都市計画部長》

29日～31日の3日間馬場川通りを交通止めして、子どもやペット向けのイベントを開いたりしてどのような環境で市民が街歩きを楽しめるか調査するため、是非ご協力いただきたい。

(3) 保健予防課感染症対策係の事務室の移動について（健康部）

（意見なし。）

(4) スーパーシティの再提案について（未来創造部）

《教育長》

教育委員会に関わることについては、第1回推進委員会の前に案が固まり次第共有していただきたい。

《未来創造部長》

承知した。本日、コア会議が開催されるため、結果を報告させていただく。

(5) 選挙従事の全庁的な配慮について（選挙管理委員会）

（意見なし。）

【総括等】

《市長》

色々な議論ができ、ありがとうございました。庁議は、全部署が集まり、さらに4支所長もいるため前橋全体を議論している場であり、今後も総合的な議論を積極的に行っていただく。

以 上

*今後の庁議開催予定

開 催 日	開始時刻	場 所
10月26日（火）	午前9時00分	庁議室
11月9日（火）	午前9時00分	庁議室
11月24日（水）	午前9時00分	庁議室

10月の定例記者会見は、27日（水）午後2時00分から

11月の定例記者会見は、10日（水）午後2時00分から

26日（金）午後2時00分から開催します。